

# 現代

伊勢志摩の海女に  
魅せられて

# の

り しゃんはい  
李 相海

# 海女

青山ライフ出版

女性、母、海に捧げる。



## 目次

はじめに―海女と邂逅	6
一 海女の祭り	11
神島のごくあげ	14
国崎の御潜神事	19
菅島のしろんご祭り	25
歳の神を海に流すノット正月	30
潮かけ祭り	49
潮仏例祭	52
白浜海女まつり	56
北限の海女フェスティバル2013	61
岩手県久慈市	
千葉県南房総市	
三重県志摩市	
三重県鳥羽市	
三重県鳥羽市	
三重県鳥羽市	

- 二 三代海女を訪ねる  
三 海女小屋物語  
四 現役海女取材記  
五 漂泊に生きる海人  
六 消えつつある海女  
むすびに

93 89 83 75 70 67



# 現代の海女

伊勢志摩の海女に魅せられて

## はじめに―海女と邂逅

鳥羽市内から日々のように見える神島へ初めて渡ったのが2008年10月5日。島民の生活ぶりと海に囲まれた独特の住居環境に興味を持ち、鳥羽市観光協会主催の神島潮騒ロケ地めぐりに参加した。

伊勢湾口に浮かぶ孤島、神島はもともと無名の島で、過去に流刑の島として志摩八丈と呼ばれた。三島由紀夫の小説『潮騒』で世間に注目を浴び、映画の舞台になってからは日本全国へ知れ渡った。

島には海神の綿津見命（わたつみのみこと）を祀る八代神社があり、苔が生える214段の石段を登ると、阿吽の狛犬が肝胆相照らすかのように左右一対をなす。一番印象深いのは神島灯台で特別公開する『潮騒』の名場面を記録した写真の数々。なかには女優、山口百恵が海女の姿で『潮騒』の映画に出演したことに、とても親しみ

を感じた。

1980年代初めごろ、日本のテレビドラマ『赤い疑惑』が中国で『血疑』の題名で放映され、中国全土を風靡した。ドラマに出演した山口百恵は、当時の中国で一番人気の高い日本女優である。以来、私は神島と海女に対する親近感が湧きはじめ、神島にまつわる民俗行事や鳥羽と志摩地域に現存する海女文化まで広く興味を持ち始めた。

2009年10月24日、私は二度目の神島潮騒ロケ地めぐりに参加した。同年暮れの三度目の神島では、元旦未明の奇祭として知られるゲーター祭りを初めて目にし、旅館「山海荘」の女性スタッフから「この島のほとんどの主婦が海女漁をやっている」と聞いて神島の常連客となった。そして、五度目の神島は2010年6月10日、海女の祭り「ごくあげ」を取材する旅だった。

同年7月1日は鳥羽市国崎町で海女の祭り「御潜神事」、7月11日には鳥羽市菅島の「しろんご祭り」を見るなど、海女にまつわる民俗行事と海女への関心は日々年々と深まっていた。

鳥羽市国崎町の御潜神事は、伊勢志摩地域でもっとも有名な海女の祭りとして知られる。しかし、2011年からは中止となった。2013年6月25日、海女文化世界遺産登録応援事業、そして20年に一度の「式年遷宮」を記念して御潜神事が再現された。鳥